

お知らせ

六月例会

期日…立教185年6月25日
時間…15時30分受付 16時開始
会場…教庁4階講堂

学生層育成者講習会

日程・会場案内

【教区】
・静岡 5月30日 教務支庁
・大阪 5月31日 大江大教会

学生担当者報

【直属】	高知	玉島	秩父	香川	西濃	東濃	北洋	小南	郡山	西陣	中野	岡山	敷島	神崎	櫻井	河原町
6月	6月	6月	6月	6月	6月	6月	6月	6月	6月	6月	6月	6月	6月	6月	6月	6月
18日	20日	21日	22日	22日	22日	22日	22日	22日	23日	23日	23日	23日	24日	24日	24日	29日
12時	12時	13時	12時	12時	12時	12時	12時	11時	12時	12時	12時	12時	11時	11時	12時	10時
～	～	～	～	～	～	～	～	15分	～	～	～	15分	45分	45分	～	～
大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	詰所

報告

四月例会

去る4月25日、教庁4階講堂において「4月例会」を開催。出席は29教区、72直属。

各地の動き

【教区学生層育成者講習会】
・沖縄 4月2日 教務支庁
【直属学生層育成者講習会】
・北陸 4月16日 大教会 16名
中山祥吉委員長出向 105名

人事

《立教184年12月25日付》
【直属学生担当委員長辞令交付】
・山口正洋 (岐美・正岐道)
《立教185年2月25日付》
【直属学生担当委員長辞令交付】
・三弊正志 (網走・女満別)
・矢野翔士 (越知・越福)
《立教185年3月25日付》
【直属学生担当委員長辞令交付】
・富安忠一 (愛静・愛梅)
・番正優児 (双名島・宇多梅)
・西村晃子 (南安藝)
《立教185年4月25日付》
【教区学生担当委員長辞令交付】
・高橋清彦 (北海道・松本 真 (山形)
・國分一志 (福島) 丸山道慶 (群馬)
・小島悟理 (神奈川) 杉田 守 (石川)
・滝 直樹 (愛知) 宮垣 誠 (滋賀)

業務記録

《立教185年4月16日～5月15日》
4月16日 春の学生おぢばがえり
プロジェクトチーム会議
17日 学修大学の部研究室会議
学修大学の部研究室会議
22日 勉強会チーム会議
23日 学修部部会
24日 担当者活動部部会
25日 委員会 例会
育成ミニ勉強会
担当者活動部部会
編纂部部会
まなびば研修会直前研修会
まなびば研修会(～27日)
26日 学修部部会
29日 担当者活動部部会
5月9日 編纂部部会
12日 研修会チーム会議
13日 委員会
14日 人材育成部部会

・福田順之助 (栃木) 遠藤義則 (鳥取)
・矢部博之 (岡山) 林 功一 (香川)
・大西信敬 (長崎) 坂本元久 (熊本)
・黒木陽助 (宮崎)

【直属学生担当委員長辞令交付】
・福田督久 (神川・聖山)
・角居勝彦 (鹿島)
・小塚嗣夫 (此花・此岡)
・横田佳直 (高松・東高松)
・永田正一郎 (秋津・秋豊中)
・仲野稔雄 (神奈川台)

「忘れられない学修」



初めて学修高校の部でカウンセラーを務めた時のこと。受け持った班は初日から男子と女子の仲が悪く、何をすることもうまくいきません。女子カウンセラーと相談し、班で何度も話し合っただけが状況は変わらず、ただ焦りだけがが増えていきました。

そんな中、学修も中日に差し掛かった時、班員のA子ちゃんが足の巻き爪が原因で歩けなくなっただけでした。それからは車いすでの移動を余儀なくされ、班の状態が悪い中で生徒にも身の上を見せていただき、正直これからどうしたら良いのか分からず途方に暮れていると、今まで歩み寄ろうとしなかった男子たちが交替で車いすを押すことを買って出ってくれたのです。そのことがき

人材育成部 委員

幸田 真生

つけてくれたのです。思いもしない言葉にびっくりしましたが、少しでもみんなが仲良くなれるようにと思い、車いすに乗り続けてくれた彼女の思いやりの心に頭が下がりました。カウンセラーという立場でしたが逆に生徒からたくさんのお話を学ばせてもらい、私にとって忘れられない学修となりました。

この夏三年ぶりに学生生徒修養会高校の部が開催されます。おかげに帰って教祖のお膝元で過ごすことは学生にとってかけがえのない時間となるでしょう。一人でも多くの方に参加していただけるよう、身近にいる高校生にぜひともお声掛けをよろしくお願い致します。

学生担当者報 6

発行/天理教学生担当委員会 発行責任者/茶谷 良佐 編集責任者/辻 雄二郎

Vol. 424

立教 185 年
2022 年
5 月 25 日発行

TEL 0743-63-1511(内線 5817) 直通:0743-63-2489 FAX 0743-62-5780

E-mail tsa@tenrikyo.or.jp TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp

第五十九期天理教学生会活動方針

仲間と手を取り合い、

身の回りの有り難い事に気づこう

一、低い心で通ろう！

○思いやりの心を持とう

○逸話篇を読もう

一、ひのきしんをしよう！

○かしの・かりものの教えを学ぼう

○身近にできるひのきしんの実践

「第五十九期天理教学生会委員総会」開催報告

天理教学生会では、5月7日、8日の二日間に渡り、第二母屋を主な会場に「第五十九期天理教学生会委員総会」を開催し、総勢111名の学生が参加しました。（教区17団体39名、直属19団体27名、スタッフ45名）なお、参加者は新型コロナウイルス感染症対策のため、本部施設での合宿体制は取らず、各詰所等から参加しました。

一日目は、去る3月28日に開催しました「立教百八十五年 春の学生おぢばがえり」式典にて真柱様から頂戴したメッセージ（代読）を振り返り、それぞれが感じたことを共有しました。次に「道の学生成人目標」に焦点を当てて話し合い、日常生活においてどういった心遣いや行いが成人につながるか、具体的に実践できることを考えました。その後、第五十九期天理教学生会 大岩恵奈委

員長より「身の回りに溢れている有り難い事に気づいていきたい。」といった今期の活動方針についての思いを聞きました。

二日目は、活動方針についての質疑応答を東右第一棟にて行い、参加者から真つすぐな意見、質問が飛び交いました。質疑応答の中で大岩委員長は、今期のキーワードとなる「共に手を取り『ありがとう』に気づく学生会」について、「低い心で生活を送ること、ひのきしんを勇んで行うことを大切にしたい。」といった旨を話しました。その後、活動方針は採決の結果、可決されました。

最後には、それぞれが立派なよこぼくへと成人させていただくことを決意し、今期の委員総会を終えました。

6 月開催「高校生の集いまなびば」会場一覧

教区	開催日時	会場	担当者	連絡先
京都	4 日 13 時～ 5 日 15 時	教務支庁	伊東 誠	090-9700-1409
福岡	4 日 19 時 30 分～ 5 日 17 時	西海大教会	門田 治	090-3415-7705
奈良	4 日 13 時 30 分～ 5 日 15 時	明和詰所	平瀬雅樹	090-3995-0551

青 空

カウンセラーとして務めた学修大学の部、受け持った班員の子が、最終日近くになって体調を崩し、班から離れることになってしまい、このまま班に合流できないかもしれないとのことだった。僕は「なんでこの子が」「なんで今なんだ」と胸が痛くなった。相手のカウンセラーと話をし、夜中に十二下りをつとめた。泣きながらだった。

つとめ終えると、不安な気持ちが消えて、「神様にもたれていれば絶対に大丈夫だ」と思った。不思議な感覚だった。その子には不思議なご守護を頂いて、最終日には班に合流することができ、おぢばのありがたさを改めて実感した。

学修は、にをいがけ・おたすけの場だといわれる。本当にその通りだと思ふ。恥ずかしながら、泣きながら誰かのたすかりを願って十二下りをつとめるなんて、それが初めての経験だった。学修というおたすけの場を与えていただき、人のたすかりを真剣に願うことが、自分自身の成人につながっている。本当にありがたいご用を頂戴していると、心から思う。